#### 神戸芸術工科大学

『単位の認定の方針について』(単位認定、学位認定、成績評価の基準)

#### 「学則]

### (単位計算方法)

第 30 条 授業科目の単位計算方法は、45 時間の学修を必要とする内容をもって 1 単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次に掲げる基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲での授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲での授業をもって1単位とする。
- (3) 卒業研究、総合プロジェクト及び学科横断型プログラムについては、学修の成果を評価して 所定の単位を授与する。

#### (単位の認定)

第32条 単位の認定は、筆記試験又はその他の方法によって行う。

2 試験は、学期末又は学年末に行う。ただし、授業科目によっては臨時に行うことがある。

第33条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

第 34 条 授業科目の試験の成績は、S・A・B・C・D・E の 6 段階をもって表示し、S・A・B・C を 合格とする

# (卒業要件、学位)

第39条 本学に4年(第17条第1項により入学した者については、同条第2項により定められた 在学すべき年数、第17条の2第1項により入学した者については、同条第2項により定められた 在学すべき年数)以上在学し、第31条に定める授業科目及び単位数を取得した者については、教 授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定し、学士(芸術工学)の学位を授与する。

第40条 前条の卒業者には、学士(芸術工学)の学位記を授与する。

## (別表第1(第29条、第31条関係)

#### 8 履修単位数表(卒業要件表)

	学科	環境デザイン学	プロダクト・イ	ファッションデ	ビジュアルデザ
		科	ンテリアデザイ	ザイン学科	イン学科
科目区分			ン学科		
基	芸術工学	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上
礎	芸術・文化	8単位以上	8単位以上	8単位以上	8単位以上
教	科学・技術	6単位以上	6単位以上	6単位以上	6単位以上
育	人間・歴史・社会	8単位以上	8単位以上	8単位以上	8単位以上

科	J 3	ミュニケーショ	7単位以上	7単位以上	7単位以上	7単位以上
目	ン					
	身体	本・健康	2単位以上	2単位以上	2単位以上	2単位以上
	小言	+	44単位	44単位		44単位
自自	自由		10単位	10単位	10単位	10単位
学	当	必修	29単位	14単位	13単位	13単位
科	該	選択必修	5単位	14単位	18単位	28単位
目	学	選択	26単位	32単位	29単位	19単位
	科					
	卒業研究		10単位	10単位	10単位	10単位
	小言	 +	70単位	70単位	70単位	70単位
合詞	合計		124単位	124単位	124単位	124単位

学科		学科	まんが表現学科	映像表現学科	アート・クラフト学科
科目区分					
基	芸術	<b></b>	4単位以上	4単位以上	4単位以上
礎	芸術	<b>ド・文化</b>	8単位以上	8単位以上	8単位以上
教	科賞	学・技術	6単位以上	6単位以上	6単位以上
育	育 人間・歴史・社会		8単位以上	8単位以上	8単位以上
科	斗 コミュニケーショ		7単位以上	7単位以上	7単位以上
目	ン				
	身体	本・健康	2単位以上	2単位以上	2単位以上
	小言	+	44単位	44単位	44単位
自自	自由		10単位	10単位	10単位
学	当	必修	24単位	2単位	8単位
科	該	選択必修	4単位	10単位	26単位
目	学	選択	32単位	48単位	26単位
	科				
	卒業研究		10単位	10単位	10単位
	小計		70単位	70単位	70単位
合言	合計		124単位	124単位	124単位

## [履修に関する規程]

## (卒業に必要な単位数)

第7条 卒業に必要な単位数は、別表第2に定める所定の単位数以上とする。

## (単位の認定)

第17条 単位の認定は、原則として試験により行うものとする。ただし、授業科目によっては試験によらないことがある。

#### (成績)

第18条 学則第34条に定める成績評語は、次の基準によるものとする。

- S 90 点以上 100 点
- A 80 点以上
- B 70 点以上80 点未満
- C 60 点以上 70 点未満
- D 60 点未満(不合格)
- E 評価なし(不合格)
- W 評価なし(履修中止)
- 2 認定された単位の表示は、認定(N)とする。
- 3 評価保留中の授業科目は、評価保留(F)とする。
- 4 学生への成績通知は、第1項の評語をもって表す。
- 5 省略 (GPA の計算方法)